

NOSAI熊本
特集

支えあおう熊本

平成28年熊本地震

共済金は
**2億6千万円
超える**

熊本地震による共済金の支払いについて

共済事業名	支払頭数 (棟数)	支払共済金 (円)
家畜共済	96	15,862,074
園芸施設共済	438	132,410,304
建物共済	153	113,275,859
合計	—	261,548,237

※金額等は平成28年7月1日現在。

※平成28年7月1日現在も被害確認中ですので、最終的な共済金支払額ではありません。

農業関係においても、園芸施設や畜舎等の倒壊、それに伴う家畜の圧死、農業機械や利水施設の損壊、農地の亀裂や液状化など、被害は多数にのぼります。

平成28年4月14・16日に発生した熊本地震では、未曾有の大災害となり、多くの命を奪い、家屋の倒壊、道路の寸断、山林の崩落など県内各地で甚大な被害が発生しました。

5月13日から共済金の支払いを順次開始し、7月1日現在、在、家畜共済で1億3241万円、園芸施設共済で1億3241万円、建物共済で1億132万円、7万円お支払いしました。

支援対策

被災された農家の方々を対象にさまざまな支援対策が出されています。支援対策の詳細は、農林水産省ホームページまたは九州農政局熊本支局ホットライン（電話：096-300-16020）までお問い合わせください。

もしもの時の備えに

NOSAIは、農家の皆様が安心して農業を営むための、もしもの時の備えでありますと願っています。各事業の加入や現在加入されている内容の見直しなどのご相談は、お近くのNOSAIまでご連絡ください。



地震によって発生した、液状化現象。
(4月19日、熊本市)

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。
このたび「平成28年熊本地震」により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
皆さまの安全とご健康を願い、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

「よりよい熊本」復興への道。

復興に向けて～一歩ずつ～

地震直後は、倒壊した自宅の後片付けや、ため池決壊等の対応で栽培するブドウにかける時間がなかつたため、現在大忙しの毎日です。災害が起きたのを悔んでもしかたないので、不便な生活ですが、前を向いて楽しく頑張つていきたいと思います。

倒壊したイチゴの高設栽培施設を田の当たりにし「続けるのは無理だね」と諦めかけましたが、少しずつ前を向き、支援事業を利用しながら修繕に取り組んでいます。

私たち県内の農家が一つになり、災害に負けない施設対策や環境を整え若い世代へと引き継いでいきましょう。

一部耕地に水がこないため、今年は大豆の作付けを検討しています。飼っている牛たちも地震後、餌の食いつきが悪く、今後どこかに影響が出てこないか心配ですね。

何かしなければ始まりません。まずは、できることから取り組み、前に進んでいきます。



**南阿蘇村
岡本 智則さん(43)
おかげと ともり**



益城町
たのうえ やすひろ
田上 保弘さん(71)



八代市
さるわたり
猿渡 みつじ
光次さん(78)



熊本市
こめだ ひでき
米田 英記さん(68)



宇城市
まつなが
松永 とおる
透さん(47)



菊陽町 しょうやま こうじ
牛山 公次さん(49)



安心のネットワーク
NOSAI熊本 お問い合わせ専用

本 所 ☎(0964) 25-3200	阿蘇支所 (0967) 32-0347	球磨支所 (0966) 45-0531
熊本市支所 (096) 329-5211	北部出張所 (0967) 46-3488	下球磨出張所 (0966) 22-5104
植木出張所 (096) 273-1913	南部出張所 (0967) 62-9144	天草支所 (0969) 22-5444
宇城支所 (0964) 32-3511	上益城支所 (096) 282-6565	【家畜診療所】
玉名支所 (0968) 72-4181	山都出張所 (0967) 72-4222	本 所 (0964) 25-3220
鹿本支所 (0968) 43-2357	八代・芦北支所 (0965) 32-4111	菊池支所 (0968) 37-3877
菊池支所 (0968) 37-3000	芦北出張所 (0966) 82-5577	阿蘇支所 (0967) 32-0360

果樹の台風対策について

熊本県農林水産部生産経営局
農業技術課農業革新支援センター

北村光康

台風に伴う強風や集中豪雨の被害を軽減するには、事前の対策が重要です。熊本地震による園地基盤への影響もみられており、被害の拡大を防ぐためにも本格的な台風シーズンに入る前にしっかりと準備を行い、台風に備えましょう。

1 強風対策

台風被害を最小限に抑えるために、支柱立て、枝葉の結束、棚の固定、破風ネットの展張、施設の点検と補強、温州ミカン園でのシートマルチの補強等が必要です。直前の準備には限界がありますので、事前に可能な限りの対策を実施しましょう。

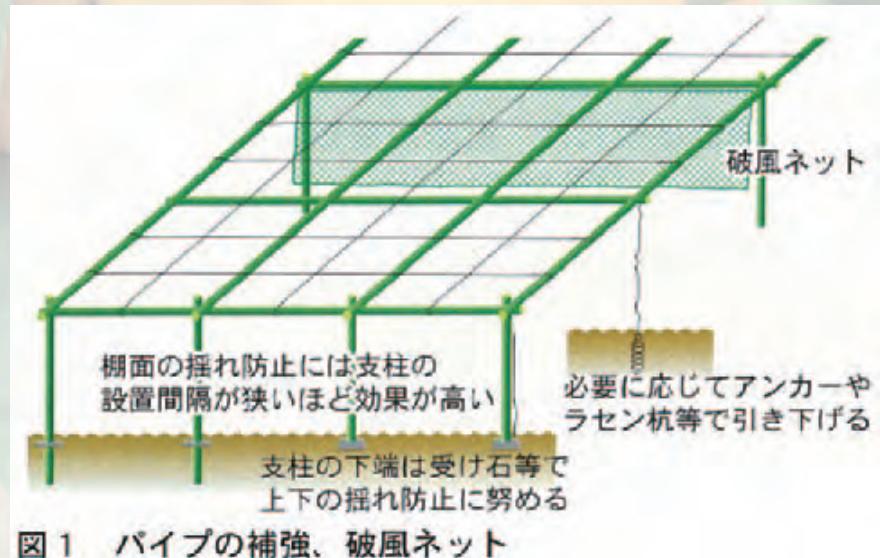


図 1 パイプの補強、破風ネット

②棚面の補強と 支柱

破風ネット(図1)

ナシ等の棚栽培では、強風で棚面が上下に揺れないよう

③シートマルチの補強

四

温州ミカンのシートマルチ栽培におけるシートの破壊は、地面との隙間や主幹部分のシート同士の隙間から風が侵入して被害が拡大します。被害を防ぐためには、台風襲来前に重し等で押さえをしきり行うとともに、風が侵入する隙間を無くします。なお、台風が直撃して耐えられないと判断される場合にはシートを巻き上げて結束するか、撤去します。

に補強すると落果被害を軽減することができます。既に棚を補強済みの園でも、今一度点検しておきましょう。更に、園内に破風ネットを設置すると落果軽減効果が高くなります。

2 集中豪雨対策



図2 直管の活用 柱による直管の押さえ ひも 土のう等によるシートの押さえ

③ 果実の品質保持

温州ミカンのシートマルチ栽培では、品質保持のため雨水がシート内に侵入しないよう排水対策を徹底しましょ。

3 台風襲来時の 病害虫防除

①防風ネットの点検
防風ネットが設置されてい
る園では、ネットが破損して
いたり、固定されていないと
効果が低下しますので、事前
に点検・補修を行いましょ。

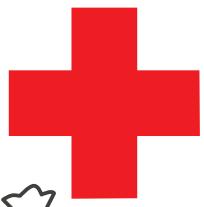
被害を防ぐためには、台風襲来前に重し等で押さえをしきり行うとともに、風が侵入する隙間を無くします。なお、台風が直撃して耐えられないと判断される場合にはシートを巻き上げて結束するか、撤去します。

台風襲来時には集中豪雨が発生しやすく、地震の影響のあった園地では思わぬ被害が起こる可能性がありますので、事前にしっかりと対策を行いましょう。

強風や集中豪雨により、
カンキツのかいよう病、黒点
病、ナシの黒星病、モモのせ
ん孔細菌病、カキの炭そ病
等、発生が助長される病害に
ついて薬剤散布を徹底しま
しょう。また、台風襲来後に
は、カメムシ類が急増する恐
れがありますので注意しま
しょう。

①集排水溝・側溝の

園外から雨水が侵入しないよう、集排水溝や側溝の点検・整備を行いましょう。



診療所 だより



家畜診療所 本所
技師 萩原 沙保里

今回は、

「牛の分娩について」

考えていきましょう!



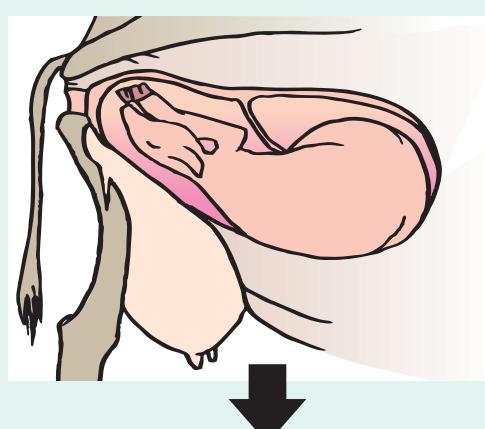
たまに「お産だ!」といって慌てて胎子を引っ張る人がいますが、正常なお産であれば牛は自分の力で分娩することができます。正常な分娩経過を知り、十分に経過の進行を待つことは、安産のカギになります。重要なことは、**分娩の異常に早く気付くこと**です。正常な分娩をもう一度確認して、異常に早く気づけるようにしましょう。

1 正常な分娩

分娩の経過は大きく3期に分けられます。

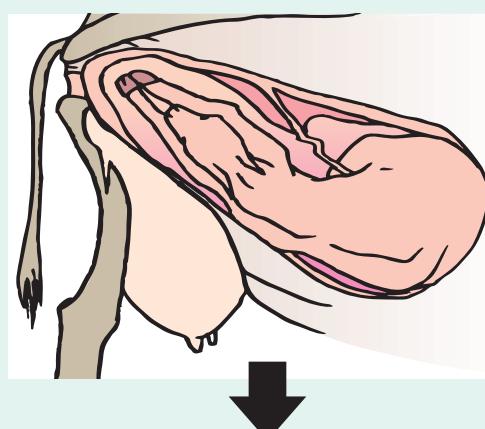
①開口期

親牛の外見上に変化はありませんが、この時期に胎子は産道に合う姿勢に変わります。初めは15分起きくらいにおこる陣痛も徐々に頻度が増して3~5分間隔になりますが、個体差があります。この時ほとんどの胎子が横向きから上向きへ回転し、徐々に産道を広げます。この状態は約3~6時間と言われています。



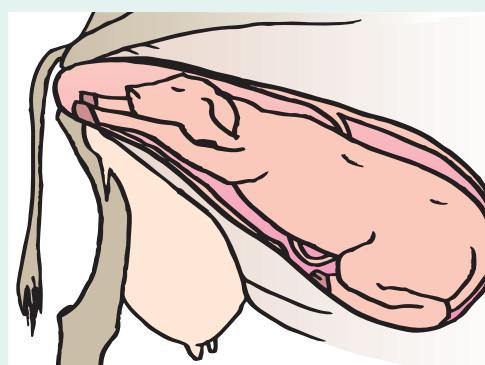
②産出期

子宮口が完全に開き、胎子が娩出されるまでの期間をいいます。胎子は二枚の膜に包まれているため、この時期に2回破水が起きます。一次破水は胎子が子宮頸管を通るときに破けることが多く、茶色で水のようにサラサラした液体が出てきます。二次破水の多くは足胞(胎子の足が透けてみえる袋)が出てから破けることが多く、ドロッとしたやや白みのかかった液体が出ます。そして強い陣痛によって胎子は娩出されます。一次破水と二次破水の順番が逆になることや同時に起こることもありますが、どちらも正常なお産です。



③後産期

胎子が娩出されたあと、後産(胎盤)が排出されるまでの時期をいいます。通常半日以内に後産は排出されます。



分娩経過には個体差があります。経産牛と未経産牛を比べると未経産牛の方が、産道が開くのに時間がかかるため分娩時間も長くなります。また、逆子の場合も分娩時間は長くなる傾向があります。

2 どんな時が分娩の異常か?

分娩の際に母牛の外見上から異常を疑うサインを紹介します。



異常を疑うサイン

- ①外陰部から出血している
- ②外陰部から胎盤が出てきている
- ③異常に強い陣痛・異常に弱い陣痛
- ④外陰部が対称でない
- ⑤二次破水から2時間経過しても分娩が進まない
- ⑥羊水が臭く、色が悪い

【解説】

- ・①と②は胎子が娩出される前に胎盤が剥がれていている可能性があります。分娩に時間がかかっていることが考えられるので早めに胎子を娩出させてあげる必要があります。
- ・③と④は子宮捻転が疑われます。迅速に処置を行わないと母子ともに予後が悪くなることがあります。
- ・⑤は、陣痛が弱い、産道が狭い。胎子の姿勢が悪く手足が引つかって出てこられないなどが考えられます。
- ・⑥では死産が予想されます。

母牛の外見から分娩の異常が現れたときは、母牛の外陰部から産道内に手を入れて胎子の状態や分娩の進行状態を確認する必要があります。もしも「おかしいな」と思ったら、母牛を繋いでから外陰部を大量の水で洗い、手も洗剤等できれいにして入れてみるのも手段のひとつです。

不明な点などありましたら、お気軽にNOSAI獣医師にお問合せください。